

航貨教) 第 7 号
2023 年 5 月 17 日

IATA 認定危険物資格取得講習会に関するご案内

一社) 航空貨物運送協会
事務局

平素は当協会に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、既報のとおり当協会は、2022年9月にIATAよりCBTA Provider (プロバイダー) として認定され、2023年3月より下記航空危険物資格取得コースについて危険物教育訓練を提供し、IATA資格取得が可能となりましたのでご案内申し上げます。



1. 資格取得が可能な危険物コース

Dangerous Goods Regulations training course		
Dangerous Goods Regulations training course for well-defined job functions in accordance with IATA DGR “Dangerous Goods Training Guidance”: IATA DGR “DG Training Guidance”に従って明確に定義された職務のための危険物規則トレーニングコース		
コース	具体的な職務	対象者
7.1 イニシャル リカレント	Personnel preparing dangerous goods consignments. 危険物受託を準備する従業員	荷主様、荷主代行者様 梱包事業者様 フォワーダー・代理店
7.2 イニシャル リカレント	Personnel responsible for processing and accepting goods presented as general cargo. 一般貨物として提示された商品の処理と受入れを担当する従業員	対象：荷主様、荷主代行者様 梱包事業者様、倉庫事業者様 輸配送事業者様、 フォワーダー・代理店
7.3 イニシャル リカレント	Personnel responsible for processing or accepting dangerous goods. 危険物の処理または受入れを担当する従業員	現在、会員様のみ受付しています 対象：フォワーダー・代理店

(ア) 職務別に資格が必要となります。

(イ) 初めて受講される方は、イニシャルコースとなり、有効期限内に更新される場合にリカレントコースとなります。更新期限の 2 年間を過ぎますとイニシャルコースでの再受講となります。

2. 講習会および評価試験詳細

コース	開催場所	日程		講習会 開催方式	評価試験	付与 基準	備考
		自学習	講習会				
7.1 イニシャル リカレント	東京	1日	3日	対面	筆記	80% 以上	放射性物質取 扱いの場合プ ラス1日の教程
7.2	全国	なし	1日	オンライン	e-learning	同上	
7.3 リカレント	東京	1日	2日	対面	筆記	80% 以上	

(ア) 「自学習」は、講習会参加までに、受講者個人でご自宅・会社にて教材をもとに自習していただきます。約 8 時間自習いただきます。**-別途この 8 時間に相当する危険物ベーシック講習会を事前に開催しますので、ご希望の方はお申込みください。尚、費用、申込は別途必要です。**

(イ) 今回、7月開催は東京地区のみの開催となります。大阪地区の方は9月にお申込みください。

(ウ) 7.3リカレント（更新）の日程が合わない方は、イニシャルの日程へご参加ください。

(エ) 講習会は、9:00～18:00の1日8時間を予定します。

3. 年間予定

- 放射性物質取扱い資格をご希望の方は、5月または11月に受講ください。

危険物コース						会員のみ対象				
受講 期間	申込期間	7.1		放射性物質 取扱	7.2	7.3 イニシャル		7.3リカレント		放射性物質 取扱
		東京	大阪	東京・大阪	オンライン	東京	大阪	東京	大阪	東京・大阪
7月期	5月17～6月7日	7月4～6日	実施しません	-	7月7日	7月11～13日	実施しません	7月18～19日	実施しません	-
9月期	7月14～31日	9月5～7日	9月5～7日	-	9月8日	9月12～14日	9月12～14日	9月19～20日	9月19～20日	-
11月期	9月15～30日	11月6～8日	11月6～8日	11月9日	11月10日	11月13～15日	11月13～15日	11月20～22日	11月20～22日	11月16・23日
2024年 1月期	11月15～12月1日	2024年 1月16～18日	実施しません	-	2024年 1月19日	2024年 1月23～25日	実施しません	2024年 1月29～30日	実施しません	-

4. 使用教材

コース名	教材	講習会
7.1/7.3	IATA DGR/JAFA 制作教本	会場での対面方式
7.2	JAFA 教材のみ	オンライン

5. 評価試験について

コース名	試験方法	IATA ディプロマ認定書発行基準
7.1/7.3	英語・日本語併記による記述方式 (放射性物質取扱いは、別試験となります。)	出題の80%以上-90%以上は Distinction
7.2	日本語による e-learning 方式	20 問出題の 80%以上 -90%以上は Distinction

※放射性物質を選択された方は、2つの試験の合計点 140 点の 80%以上の得点で合格となります。

6. 合格証

- IATA 認定証は、SDA 方式での発行となります。
- 今回から講習会における危険物取扱い習得が目的となりますので、3 日の講習会参加し合格された方のみ認定証を発行します。1 日でも講習会に参加できなかった場合には、認定証の発行はできません。

7. 定員

- 7.1/7.3 の講習会は、対面式のため定員がございますので、先着順にて受付します。
- 定員となりましたら次回講習会を受講してください。
- コース・会場によって最低催行人数に満たない場合（5 名程度）には、キャンセルになる場合がございます。
- 同じ開催場所での参加が 10 名様以上見込まれる場合には、別途ご相談ください。

コース名	東京・中央区 JAFA セミナールーム	大阪市北区 天満研修センター
7.1/7.3	各 25 名	各 15 名
7.2	オンラインのため定員なし	

8. 受講・受験機会

- 受験機会は、1 回のみとなります。欠席、評価試験不合格の方は再度お申込みください。その場合、費用は別途ご請求となります。

9. キャンセルおよび変更について

- 原則受付後のキャンセルは不可となります。
- 開催 2 週間前までの変更につきましては、当協会までご相談ください。
- 開催 2 週間以内の変更については、原則不可とします。
- 途中の教程を欠席された場合にも欠席扱いとなります。

10. ディプロマ認定試験（危険物コース）の流れ（会員様⇔JAF A 間）

（受） = 受験者、（教） = 教育担当者、（J）= JAF A



非会員様向け

今回、IATA 認定 CBTA 各コースを受講される方へ

自学習に相当する 8 時間の「航空危険物ベーシック講習会」を下記内容にて実施いたします。

初めて受講される方、今後資格取得を目指す方で受講ご希望の方は別途お申込みください。

但し、CBTA 資格取得講習会と別に参加費が必要となります。

別紙：JAF A-BIAC 主催・航空危険物ベーシック講習会開催案内

2023 年 5 月 17 日

荷主 各位

一般社団法人 航空貨物運送協会 (JAF A)
国際航空貨物航空会社委員会 (BIAC)



「航空危険物ベーシック講習会」開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

毎々格別なるご高配を賜り、誠に有難く御礼申し上げます。

さて、2021 年 1 月から ICAO の技術指針が改定となり、「職務に応じた責任を全うする能力を持たせる」= **CBTA** : Competency-based Training and Assessment **能力要件に基づく教育訓練**をガイダンスとして提供され、IATA は、新たに推奨される教育訓練手法として、ICAO の技術指針に従ったプログラムを設定、維持することとなりました。

JAF A と BIAC は「IATA 危険物規則」など諸規則の遵守についてご理解頂くため 2021 年より「航空危険物実務講習会」を開催して参りましたが、この度の大幅改定とそれによる危険物教育の変更を受け、これ迄実施して参りました講習内容を見直し、新たに「航空危険物ベーシック講習会」として開催させて頂くことと致しました。

2023 年からの CBTA への移行に伴い、JAF A をはじめ国内各教育機関では、この IATA の教育訓練プログラムに沿って IATA 認定の航空危険物資格取得のための講習会を実施しておりますが、今回、荷送人ご出荷担当者様をはじめ航空貨物代理店の従業員の方に、航空危険物輸送の基礎を学ぶ講習会として位置付け、今後資格取得を目指す方への導入教育の機会として広く受講していただきたくご案内申し上げます。

ご存じのように、荷送人様の責任につきましては、危険物の正しい識別・分類、包装要件に合致する梱包、申告書作成等の責任、及び教育訓練の実施を規定しておりますが、法令・規則等を遵守しない場合は罰則規定もございます。危険物運送により引き起こされる事故等が発生した場合は、荷送人にまで責任が及ぶこともございます。

一方、年々、新たな物質・物品が危険物として割り当てられており、航空危険物に係る輸送規則が欧米を始めとして厳格化されてきている状況において、規則改定を含め最新情報を習得していただく荷送人様におかれましてはこの CBTA 手法に基づく航空危険物資格取得を推奨いたします。

当講習会は、これから危険物を取扱う皆様にもむけて、航空危険物の取扱い基礎知識を習得していただく講習内容となっておりますので、会員各社におかれましては危険物を出荷される荷送人様に受講いただけるよう広くご案内いただき、特に、荷送人様の物流部門、製造部門等からのご参加をご計画いただけますようお願い申し上げます。

本講習会開催の趣旨にご理解いただき、是非ともご参加頂きます様重ねてお願い申し上げます。

敬具

- 講習会参加対象の方
 - ・ **初めて航空危険物について学ばれる方**
 - ・ **今後、IATA 認定の航空危険物資格取得（7.1～7.3 コース）を目指す方**
- 講習会内容
 1. 航空危険物を初めて学ばれる方向けに、「航空危険物の基礎」を1日かけて学んでいただきます。今後、IATA 認定航空危険物資格取得を目指す方向けに、「0 項/自学習 8 時間」に相当する講習内容となります。
 2. 評価試験はございませんが、ご希望の方には受講記録として修了証を発行します。
- 注意事項
 1. この講習会のみ受講しましても、IATA 認定の航空危険物資格は取得できませんので、改めまして IATA 認定の各教育機関-危険 CBTA センターで実施する航空危険物資格取得講習会（CBTA7.1～7.3 コース）を受講し、評価試験に合格する必要があります。
 2. IATA 認定の CBTA センターでの危険物資格取得講習会の費用は別途かかります。

記

【主催：Jafa-BIAC 共同研究会】

1. **開催日時 2023 年 6 月 28 日（水）9:00～18:00**
2. Jafa セミナールームと WebEx Webinars を使用したオンライン講習の併用会場定員 35 名、尚、先着順で受付いたします。オンライン参加の定員はございません。
3. 受講料 : 5,000 円（税抜き）/1 名-IATA 認定 CBTA 資格取得の講習会と別に費用が発生します。
 - ・ 教本送料を別途ご請求いたします。5 冊まではレターパックで送付します。
 - ・ 消費税・地方消費税を加算の上、ご請求させていただきます。
4. 申込期間：2023 年 5 月 17 日（水）～6 月 7 日（水）
5. 申込方法：添付受講申込書に必要事項をご記入の上、kyoiku@jafa.or.jp までお申し込み下さい。
 - ① 後日、お申し込み確認と受講案内をメールにて送信します。
 - ② 当日ご来場の際に「身分証」をご提示いただきますのでご持参ください。
6. 受講料振込要領
 - ① 受講申込書到着後、ご担当者へ請求書を発送いたします。
 - ② 受講料振込期限は 2023 年 6 月 20 日（火）です。なお、振込手数料は貴社にてご負担下さい。領収書の発行はいたしません。各金融機関の送金控えをもって代えさせていただきます。
 - ③ 期日までに受講料振込がない場合は受講キャンセルとさせていただきますので予めご了承下さい。
7. 教材発送後のキャンセルや連絡なくご欠席の場合は、受講料の返金はいたしませんので予めご了承下さい。
8. 使用教材
 - ① Jafa 作成講習会教本を利用。Jafa の主催する CBTA 講習会へご参加予定の方はその教本を送付します。この講習会のみ参加の方には別途教材をお送りします。
 - ② IATA 危険物規則書第 64 版（2023 年版）を講習会で貸出します。また、最新の英語版、日本語規則書をお持ち込みいただいても結構です。

※ お問い合わせ先：一般社団法人航空貨物運送協会（Jafa） 事務局・田中

E-mail : kyoiku@jafa.or.jp Tel: 03-6222-7571

以上

■ 航空危険物ベーシック講習会プログラム

- ・ 講師 一社) 航空貨物運送協会 危険物専任講師
- ・ 2023年6月28日(水) 9:00~18:00

大項目	中項目	小項目	熟達度	DGR Sec.	
0 危険物の基礎の理解	0.1 危険物を認知する	0.1.1 定義を理解	★	1	1日
		0.1.2 法律的枠組みを知る(世界的、地域的、教育訓練の法律要件)	★	1.1	
		0.1.3 適用の範囲を識別する	★	1.2	
		0.1.4 危険性(Hazard) と危険 (Risk) を区別する	★	1.0、8.1.6	
	0.2 一般的制限を識別する	0.2.1 禁止された危険物の感覚を開発する	★	2.1	
		0.2.2 潜在的な隠れた危険物を識別する	★	2.2	
		0.2.3 旅客の規定に習熟する	★	2.3	
	0.3 役割及び責任を識別する	0.3.1 サプライチェーン個々および集合体の役割を理解する	★	1.3、1.4	
		0.3.3 政府例外規定、運航者例外規定の影響を知る	★	2.8.1/2.8.3	
	0.4 分類および包装の重要性を理解	0.4.1 分類および区分の一般情報を識別する	★	3.0.1	
		0.4.2 包装等級の一般原則を理解する	★	3.0.3	
		0.4.3 複数の危険を考える	★	3.1	
	0.5 危険性情報を理解する	0.5.1 マーキング基本要件を知る	★	7.1	
		0.5.2 ラベリングの基本要件を知る	★	7.2	
		0.5.3 要求される書類を識別する	★	8.0.1、8.0.6	
	0.6 基本的な緊急対応に習熟する	0.6.1 一般的緊急手順について理解する	★	1.8	
		0.6.2 雇用者の緊急対応要件を理解する	★	9.6.1、9.6.2	

- ・ カリキュラムは CBTA7.1/7.3 コースの項の学習項目に沿って学習いただけます。
 - ・ 今後、Jafa 主催の航空危険物資格取得講習会にご参加される方は、自学習 8 時間分のカリキュラムに相当します。
- ・ 使用教材は Jafa 発行の教本と IATA 危険物規則書英語版となります。尚、最新（64 版）の英語版・日本語版お持ち込みいただいても結構です。
- ・ 申込時に事前にご質問や疑問点を受付けますので、申込書に自由にご記入ください。事前質問に対する回答は、講習会の講義または質疑応答時に行います。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の対処方針変更により、
 - ・ マスクの着用は個人の判断といたします。
 - ・ 入室時の手指の消毒をお願いします。
 - ・ 講習会当日、37.5 度上の高熱、風邪の症状がある方は会場での参加を遠慮いただき、オンライン参加としてください。